

吹田市花とみどりの情報センター条例及び施行規則の一部改正の骨子案に対する提出意見と市の考え方について

1 提出期間 令和2年（2020年）2月6日（木曜日）～  
令和2年（2020年）3月6日（金曜日）

2 提出意見数 38件（16通）

3 提出意見と市の考え方 以下のとおり

	提出意見（要約）	市の考え方
1	<p>施設の統合に関するご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江坂花とみどりの情報センターを存続・強化すべきだ。【6件】</li> <li>千里花とみどりの情報センターを江坂花とみどりの情報センターに統合すればよい。【2件】</li> <li>花とみどりの情報センターを増やすべきだ。【1件】</li> </ul>	<p>千里花とみどりの情報センターで実施しているみどりのまちづくりの機能を強化・充実させるため、同センターに、園芸緑化の啓発施設である江坂花とみどりの情報センターを統合することが、総合的なみどりのまちづくりを一層効果的・効率的に推進するものと考えています。</p> <p>なお、江坂花とみどりの情報センターがある江坂公園は、他の主要な都市公園とともに、新たな公園の管理・運営についての検討を行い、江坂公園内の各施設を含めた全体的な魅力向上を図ってまいります。</p>
2	<p>江坂花とみどりの情報センターでのボランティア活動に関するご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動の場を確保してほしい。【4件】</li> <li>ボランティア活動への助言と育成を条例で位置付けてほしい。【1件】</li> </ul>	<p>花とみどりの情報センターは、吹田市第2次みどりの基本計画（改訂版）において、市民参画・協働によりみどりのまちづくりを推進する拠点として位置づけられています。今後も、みどりのまちづくりに主体的に関わっていただける市民ボランティアの育成に取り組めます。</p> <p>また、引続きボランティア活動が継続できるよう、方策を検討します。</p>
3	<p>今後の施設利用に関するご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統合後、講習室や展示スペースの使用が不自由にならないのか。【2件】</li> <li>展示スペースの模様替えをするのか。【1件】</li> </ul>	<p>統合後においても、市民講習や展示会等が円滑にかつ充実して実施できるよう努めるとともに、新たな花とみどりの情報センターの役割にふさわしい展示の在り方を検討します。また、市民講習の取扱いにつきましては、現状通りとする予定です。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民講習による使用料は現状通りとしてほしい。【1件】</li> </ul>	
4	<p>骨子案以外の意見（1） 施設の運営に関するご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民講習や展示会の宣伝をもう少し幅広くしてほしい。【1件】</li> <li>・ 高齢者の参加を促す企画をしてほしい。【1件】</li> <li>・ 市民協働を大事にしてほしい。【1件】</li> </ul>	<p>今後の施設運営の参考にさせていただきます。</p>
5	<p>骨子案以外の意見（2） 江坂公園複合施設の改善に関するご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江坂公園や地下駐車場と連携したイベントを実施してはどうか。【1件】</li> <li>・ 江坂図書館との連携を推進してはどうか。【1件】</li> <li>・ 江坂ロビーフェスタを充実・推進してはどうか。【1件】</li> <li>・ 江坂図書館を地下駐輪場又は地下駐車場の場所に移転し、拡張してはどうか。【2件】</li> <li>・ 講習室・会議室・展示スペースを、幼児や高齢者、会社員等のため活用してはどうか。【2件】</li> <li>・ 屋上庭園（インナーガーデン）を憩いの場としてほしい。【2件】</li> <li>・ 現在の江坂花とみどりの情報センターを改修し、カフェスペース等にできないか。【1件】</li> <li>・ 江坂公園全体を民間委託活用し、多機能なスペースにしてください。【1件】</li> <li>・ オープンスペースとして活用してほしい。【1件】</li> </ul>	<p>今後の施設改善の参考にさせていただきます。</p>
6	<p>骨子案以外の意見（3） 緑化施策に関するご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市の緑とオープンスペースを強化充</li> </ul>	<p>今後の緑化施策の参考にさせていただきます。</p>

	<p>実してほしい。【1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木を切るのではなく育成するよう再認識してほしい。【1件】</li> <li>・ 市民の憩いの場となる公園づくりをしてほしい。【1件】</li> <li>・ 花や緑に触れるような健康づくりを進められるよう、活動拠点を快適に維持してほしい。【1件】</li> </ul>	
7	<p>骨子案以外の意見（4） 意見提出手続に関するご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近の利用実績や今後の利用計画などの説明がなく、情報が不十分だ。</li> </ul> <p>【1件】</p>	<p>今後の制度運用の参考にさせていただきます。</p>

提出された意見の全文は、次ページからご覧ください。

<受付番号1>

①江坂花みどと千里花みどが統合になると、我々市民講習者は、日程を組むのにとっても困難になると思います。どうすれば今迄の様にスムーズに市民の皆様と楽しく講習できるでしょうか？

②千里花みどでお世話になっています。以前から講習する日に1ヵ月前から作品等を提出していただいておりますが、中々市民の皆様には届いてない様で。できたら宣伝をもう少し幅広く考えていただいたら幸せです。私個人としては花みど様には感謝して人達との出会い大変嬉しく楽しい日々を過ごしています。

<受付番号2>

私は、平成16年より江坂の「花とみどりの情報センター」の多目的スペースにおいて毎月、(※2月と8月をのぞく)第3土曜日の2:00~3:00の1時間「江坂ロビーフェスタ」という午後のひとときの演奏や演芸の時間をサポートしております。

これは毎月第三土曜日の午後に音楽などのイベントを開催し、図書館や花みどさんに市民が親しむ場をつくるものです。

公演回数は16年間で160回を超え、のべ1万5千人ほどの市民の皆さんと一緒に楽しんできました。正確な数字については目下確認中です。

現在は邦楽、二胡、マンドリン、ライアー、ジャズバンド、ボサノバ、フラメンコ、ハワイアンなどなど舞台上で活動しておられる方々に、無償で出演していただいております。

このたびの統括センター機構への変革に伴い江坂の花みどはこの月一度のイベントをより推進していただきます事と同時に、「花みど」のより開放された事業を提案させていただきたいと思っております。

1. 江坂花みどが多目的ホールおよび公園の「広場化」。四季の事業「江坂の広場」。

多目的ホールと公園のステージ周辺などに四季のメルカドを出店。ポプラ並木通りなどに出店できるとより集客が求められる。※元江坂地下駐車場との連携稼働はできないでしょうか？

2. 緑の読書室

江坂花みど研修室は図書館と連携している利点があります。そこで月に一度くらい緑に関わる本を読みつたえする「みどりの読書室」を開催。そこでは吹田の歴史や特産品の話も紹介する。※スイタクワイは面白いです。

3. 江坂ロビーフェスタにメルカドを。

イベントは14:00~15:00ですが、その前後の時間に小さなメルカドをつくる。江坂の農場の野菜を売ってもらうとか、花を売るとか。

<受付番号3>

図書館が狭いのは明らか。地下駐車場を整備して図書館とする。現在、幼児の読み聞かせ、高

高齢者体操のスペースは花とみどりの会議室を当てる。

花とみどりのスペースはそのまま必要。

講座に使用はもちろん憩いの場として。余裕のある空間が江坂で唯一の場所。

屋上庭園は保育園の子供達の安心して過せる所。南千里の花みどこそ江坂へ統一すればよい。

江坂公園の花壇は独自の花の種選びから発芽植え込みまでボランティアで運営。その作業の場としても花みどはなくてはならない。“マンション3軒揃えば苗をプレゼント”の事業より公園緑化の推進のほうがより市民の為だと思う。

#### <受付番号4>

花とみどりの情報センターは、市民の緑化意識の高揚に資することを目的に設置されています。しかし今回の江坂を閉め千里花とみどりの情報センターの1館にする事は経費節減とはいえ緑化意識の高揚目的を逸脱しています。

江坂花とみどりの情報センターを利用していた人がわざわざ南千里まで出かけるとは考えずらく、今回の改正は市民の緑化に対する意識低下の何物でもありません。

本当に緑化意識の高揚を図るのであればもっと情報センターの拠点を増やすべきです。

江坂図書館の上の緑地花壇や江坂公園の花壇はボランティアのお世話で維持されています。

江坂の情報センターがなくなると資材の置き場や種まき・育成の場所など活動に必要な場所がなくなりボランティアの活動自体が不可能になります。

江坂公園の花壇3ヶ所はボランティアが情報センターの会議室を借りて種まきをし、ハーブ花壇の奥で育成した苗を植えています。

種まきが出来なくなるとボランティア活動ができなくなります。

江坂図書館の上の緑地花壇は近辺保育園児の遊び場になっており、ぜひ残して欲しい。

江坂花とみどりの情報センターのロビーはお昼休み時間近辺会社社員の憩いの場になっておりこの点も考慮して欲しい。

#### <受付番号5>

江坂はなみどと千里はなみどの施設の機能を本拠点のある千里はなみどに統合することを反対します。

名称は花とみどりの情報センターの1本化でもいいのです。

緑化普及啓発機能も、みどり豊かな快適な都市空間づくりを目指すことはどちらも必要なことです。それがワンストップ化による市民サービスの利便性向上を図ることになるとは思いません。

吹田市の南・北に1ヶ所ずつあることが市民サービスの利便性向上は利用する側から考えて、1ヶ所ではほぼむりです。

再考をもとめます。

<受付番号6>

施設の維持管理の効率化について

ワンストップ化による市民サービスの利便性向上が図れると云っておられますが、市民の緑化意識の高揚に資することを目的にした花とみどりの情報センターです。特に緑化普及啓発の機能は手間や人手が掛ります。しかし、これはボランティアとの組合せを利用して続けることが、市民参加型の緑化機能です。これを合理化してまうとは、花と緑の情報センターではない様になるのではないのでしょうか？

特に江坂公園こぶし花壇などは市民のいやし場として大切なスペースです。小・中学校への講習会もです。緑化意識の高揚等々多様化です。

<受付番号7>

私は<A住民><B事業その他の活動を行う者>両方の立場から意見する。

江坂花とみどりの情報センターの存続と花とみどりの情報センターの機能を強化すべし。

まず、今回の改正案について意見を求めると文書が届いたが、情報が不十分だ。

- ・ 江坂・千里両センターの利用実績および最近の利用者推移状況
- ・ 現行の吹田市における両センターの運営形態
- ・ 今後の利用計画

この点を丁寧に説明もせずに、変更有きで形式だけ市民に意見を求めており不相当だ。

次に、骨子案4で施設統合の効果を3点挙げられているがどれも納得できない。

(1) 窓口のワンストップ化

それは役所の手続きを行う時の話だ。

逆に住民が気軽に立ち寄り、日常的な花とみどりの有効な情報（楽しみ）を得る為には今以上にセンターがあっても良い。千里は阪急千里線、江坂は北大阪急行沿線の住民が主に利用していると想う。なので、建都と銘打ったJRエリアにも情報センターがあっても良いくらいだ。

(2) 効率化とは何だ！ 予算の削減だけか。公園にレストランを作り企業にすり寄ってサッカー場を建設する資金があるのなら<そこに>住んでいる者の安らぎや楽しみを提供できる施設を奪うな。

(3) 情報発信 どの誰に目を向けているのか！？研究・実践多いに結構だが産官学。つまり、大きなモノの利を追及するばかりで良いのか。市民公園、市民の為の施設をないがしろにして良いはずがない。

続いて、反対理由を述べる。案では千里と統合する（江坂を廃止）とあるが、

①Aとして。千里には事務所機能しかない。江坂屋上のガーデンは小さいながらも園芸の現場であり、そこから収穫したハーブを使った市民講座等も定着している。集合住宅や庭の無い家屋でも緑を楽しめる要素があることを実感できる貴重な場だ。

- ②Bとして。ガーデンマルシェの実績を評価している。万博公園で開かれるような有料イベントとは異なり地域に開かれた都会の小さなお祭りではないのか。
- ③その存在は市民だけでなくオフィス街のワーカー達にとっても癒しの空間である。
- ④市民の資源である公園等をもっと活用出来るようにするとの市長の施策と反する。

最後に逆に提案をしたい

現在の江坂事務所、講習室の屋根部分を改修。建屋の屋根までの空間をカフェスペース等に出来ないか。今風にもっとオープンな形状も良い。機能強化として検討願いたい。

<受付番号8>

江坂花とみどりの情報センターを閉鎖し千里花とみどりの情報センターの1館に集約する件について反対です。

江坂花とみどりの情報センターが無くなると緑の相談や憩いの場がなくなります。

南千里まで江坂近辺の人が行くとは思えません。

特に近隣の会社社員がお昼をロビーで食べるなど憩いの場にもなっています。

現在の情報センターはそのまま残し、図書館を現在の自転車置き場に移動し、自転車置き場を自動車やオートバイ駐車場に移したらどうですか。

現在の駐輪場を図書館にすると図書館のスペースも十分に確保できます。

現在の図書館の場所を大講義室にすると色々なセミナーも開催出来ます。

以上江坂花とみどりの情報センター閉鎖反対と図書館・駐輪場についての提案をさせていただきます。

<受付番号9>

江坂公園周辺広場を全体をイメージアップして民間委託活用してはいかがでしょうか？

あそべて、食事も、明るくて楽しいスペースに多機能型。図書館や緑化とライブ（ミニ）場、市民相談スペース、運動スペース、貸会議室、駐輪場、防災ひなん場にもなる、多様スペースにして下さい。江坂公園が一番いいと思います。

<受付番号10>

1. 施設の利用料について

我々は現在無料で施設（研修室・展示会場）を無料で使用させて頂いておりますが、今まで通り無料で使用が可能でしょうか？

我々のグループは写真展等を年間2回実施させて頂いておりますが、写真鑑賞には吹田市民の皆さん、他の市、府県からも鑑賞に来て頂ける方がある程度定着して来ており、増え続けていますので継続して実施したいので是非とも無料で使用出来る事を切に希望致します。

2. 展示室について

この機会に現状の展示室の様態替えもされるのでしょうか？

### 3. 施設利用者のキャパシティについて

今まで江坂を利用されていた方も千里に来られると思いますので、利用者が増えて今までの千里の利用者も不自由な思いをする事にもなりかねないと思いますが利用者のキャパは大丈夫なのでしょうか。

#### <受付番号11>

都市の緑とオープンスペースの重要性、質の向上、市民参画などがここ数年低下しているように感じていました。

是非、強化充実を進めてもらいたい。

- ・緑（樹木）の育成の再認識をお願い致します。  
（木を切るのではなく育成するという事）
  - ・オープンスペースは、オープンスペースとして最大限に活用してもらいたい。  
（事務所として閉鎖的空間としない）
  - ・施設の統合により施設の位置は利便性、市民参画、協働の場などから江坂がよいと思います。
  - ・近年、高齢化による高齢者の参加それぞれの世代の参加を促す企画を発信してもらいたい。
- 書き方に不備があると思いますが、このような参画が出来る事に心よりお礼申し上げます。

#### <受付番号12>

花とみどりの情報センター統合について

現在私はボランティアでの花の水やり、上のハーブ園の手入れを手伝っております。夏の暑い時、冬の寒い時、いそがしいあい間の水やりは「しんどいな。」と思う時もあります。が花々にいやされたり近所の通りがかりの人達から「ありがとう、花に元気もらえているよ。」とか若い子供をもつお母さんが花を見てふれあっている光景を見ると、疲れがとんでいきます。センター縮小により、そういう機会が減ったり、植木の手入れが充分になされなくなることを危惧します。

コンクリートの中の生活が多い社会だからこそ、自然をのこしふれあえる生活が大事だと思います。

#### <受付番号13>

10年前に大阪市内より転居（江坂公園近隣）

公園の花や木々が豊かで、年に何度かあるイベントや催にも楽しく参加させてもらったり、家庭菜園の事なども相談させてもらっています。

この町に住んで良かったと思います。

これからも市民の為の憩いの場となる公園造り、宜しくお願いします。

#### <受付番号14>



花とみどりの情報センターを1館に統合することについて

緑にめぐまれた町、吹田市に越してきたのは20年前

江坂の花と緑の情報センターのイベントに多数参加して楽しませていただいています。

また、平成22年のフラワーリーダー養成講座受講をきっかけに江坂の花壇管理のボランティアが発足したのがSP22。今も活動を続けています。

私達SP22は、市からの提供苗の他に種から育苗しています。種まきができる場所と苗を育成できる場所がないと活動ができませんので、場所の確保等ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

<受付番号15>

私は江坂花とみどりの情報センターのボランティアとして週一度活動させて頂いているものです。

公益の増進に協力しているつもりですが今の指定アメニスさんに於ては、疑問を感じる所が多々あります。

固人の考えですが、センター長の考え方はかなり問題があると思います。

もう少し市民と協力し合えば・・・と！！

どこが指定管理になろうとも市民参画協働を大事に色んな利用・有効活動出来る様に江坂も残して欲しいです。

<受付番号16>

はなみどのボランティアの立場から

第3条に具体的に花とみどりに係るボランティア活動への助言と育成することの文言が欲しい。

(堂々と安心して情報センターを利用出来ると思います。)

どちらのボランティアグループも高齢化して、活動量が減って来ていると聞きます。我々も微力ですが一週間に一度外に出て、花を愛で、皆と語ることを楽しみにしています。

吹田市が推進している健康づくりは、運動だけでなく花や緑に触れることもその一端ではないでしょうか？

是非、活動拠点を快適に維持していただける様にご配慮お願いします。